

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 38

1 事務事業の表示

該当

事務事業名		沢木・幌内浄水場電気機械設備更新整備事業								
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	水道係					
	管理職	職名	課長		職名	係長				
		氏名	大場利昭		作成者	氏名	江田一夫			
事業の概要	沢木・幌内浄水場稼働開始から10年経過による、電気機械装置故障に伴う断水を未然に防ぐため実施する事業であります。					全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 23 年度)				
						国・道支出金			千円	
						地方債			千円	
						その他	45,000		千円	
						一般財源	5,000		千円	
事業費計	50,000		千円							
実施方法	直営	民間委託		その他 ()						
第5期総合計画(前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A				
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～							
	基本施策	17	上・下水道の整備							
	単位施策	1	水道の安定供給							
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務						
	その他計画・根拠等									
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)				
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他財源	千円	42,315 千円	千円	千円	千円				
	雄武町負担額(一般財源)	2,205 千円	千円	千円	2,500 千円	千円				
	合計	2,205 千円	42,315 千円	千円	2,500 千円	千円				

571

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	機器故障による浄水処理機能停止。	施設整備 1式			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	浄水機能の向上による安定稼働。	施設数	目標年度	平成21年度	
			目標値	2 施設	
			実績値	2 施設	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果=目的	安心・安全な水供給が図れる。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、電気機械設備更新整備事業を実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町民生活や産業諸活動に対し、水質の安定維持と供給確保のための浄水施設の更新改修を行うことは、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	機械設備の更新改修により施設の延命並びに、水質改善施設の整備が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	老朽頻度が高い設備優先による更新改修の実施及び使用可能設備の再使用による経費節減を図ったことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	水の安定供給が図られたことから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水の安定供給のためには、今後も計画通り事業を進める事が適当であると判断する。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続 / 現状維持 水の安定供給のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--